山形県立小国高等学校 高校魅力化プロジェクト

OGUNI HIGH SCHOOL GUIDE

挑め、ともに！

山形県立小国高等学校

OGUNI HIGH SCHOOL & OGUNI TOWN

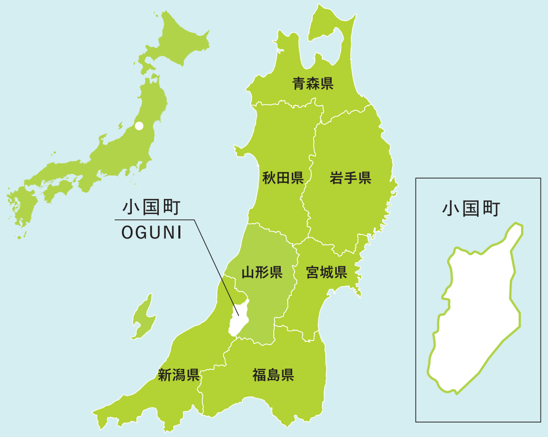
小国高校と小国町について

学ぶよろこびを！ 成長している実感を！ 白い森おぐにで。

小国高校のスローガンは「挑め、ともに！」。ここには広大なブナの森と「なりたい自分になれる」土壌が広がっています。
なりたい自分を育む土壌の一つは「挑戦する土壌」。「白い森未来探究学」では、自分の好きなことやりたいことを軸に「地域×自分」で、マイプロジェクトに挑んでいます。その中でも特に大切にしているのは「実践」です。アイデア提案に留まらず、実践を通して、主体性や協働性を身につけていきます。先生が一歩前に進む勇気を育み、地域の大人ががっしり受け止める。安心して挑戦できる土壌が小国町にはあるのです。もう一つの土壌は《ともに》がたくさんあること。先生、地域の大人が伴走・応援してくれるのはもちろん、「小規模校サミット」では、1〜3 年生全員が《ともに》ひとつのイベントをつくり上げていきます。またサミットに集うのは、全国の小規模校に通う高校生。リアルでもオンラインでも、遠く離れた《友と》交流でき、多様な個性と刺激的な出会いが、さらなる挑戦心に火をつけてくれます。
小国高校は小さな高校です。だからこそ、一人ひとりに出番があり、一人ひとりが個性を発揮することができます。自由に自分のやりたいを表現できたとき、人は幸せを実感できるのではないかと感じています。さあ、一緒に挑戦しませんか？ 小国町で待ってます！

「白い森おぐに」は、生きた教材の宝庫

山形県の西南端に位置し新潟県との県境に位置する小国町は、まちの約 9 割がブナを中心とした落葉広葉樹の森に覆われ、夏は多雨、冬は日本有数の豪雪と、圧倒的な自然の中にある小さなまちです。マタギ文化という独特の生活文化があり、いにしえより自然と人間が共存してきました。狩猟社会 – 農耕社会 – 工業社会 – 情報社会と、Society1.0〜4.0 までが全て揃っている特異的な環境であり、来る Society5.0（超スマート社会）や持続可能な社会に向けて、生きた教材が揃っています。そんな豊かな学びの土壌を支える地域の大人は、生徒にとって指導者ではなく伴走者。ともに挑戦するまちです。



OGUNI HIGH SCHOOL KEYWORDS 小国高校、学びのキーワード

白い森未来探究学

小国町をフィールドに、自分の可能性を発見する授業

「白い森未来探究学」は、豊かな地域文化に浸り、地域の方々との対話を通して、自分の可能性を発見・表現していく授業です。2年次は、それぞれの興味関心をテーマに「マイプロジェクト」を立ち上げ実践。小国町の特産物を使った商品開発や地域課題を解決するイベントの開催など、地域の大人も巻き込みながら、自分の「やりたい!」を実践していきます。

和田彩日香さん

森や動植物とともに自給自足で暮らしているまちの人を訪ねて、「生きるって、愛を持って全力で生活すること」なんだって気づきました。

白い森おぐに小国町 保小中高一貫教育

国際教育とICTを活用した情報教育でグローバルな視点も育成

小国町では、保育園から高校まで一貫教育を実施しています。特に国際教育に力を入れており、高校では、英会話宿泊研修、ロサンゼルスへの研修旅行、イースト高校(コロラド州)への短期留学など様々なプログラムが体験可能。また、ICTを活用し日本各地の高校生や世界の人々とインターネットでつながって、多様な価値観に触れられる環境を整えています。

吉田健人さん

私は短期留学を通して、コミュニケーションをとる時は、ジェスチャーなどを使いながら相手に必死に伝えるのが大切なことだと感じました。

全国高等学校 小規模校サミット

小規模高校であることを誇りに!生徒が運営する高校生の交流イベント

過疎地域に立地する小規模高校どうしだからこそ、共に語り合うことで、互いに勇気づけられることもあるはずと2018年よりスタート。日本全国の仲間と徹底的に語り合う場をつくっています。この日に向けて、コミュニケーション研修やファシリテーション研修を重ね、メイン司会から各部会の進行運営までを生徒が担います。人間関係構築力や挑戦する力が飛躍的に向上します。

舟山未羽さん

小規模校であることに誇りを持つことで、行動力や話す力がつき、リーダーとして活動する機会が増えました。学校、地域と共に成長できたことに感謝しています。

高大連携 地域連携

学びの場は、学校だけじゃない!大学や地域で高度な学びに触れる

小国高校では、小規模高校ならではのフットワークの軽さを活かし、学校外での学びも充実させています。東北芸術工科大学コミュニティデザイン学科との協働では、全国小規模校サミットに向けてのチームづくりやコミュニケーションを学ぶ研修。また、地域との協働では、企業インターンの受け入れや特別授業の提供など、将来のイメージを深める機会を得ています。

井上泰成さん

山形大学工学部で使わせていただいた3Dプリンター。ここからモノづくりに対する探究心がより一層深まりました。本当に感謝しています。

OGUNI HIGH SCHOOL GROWING UP

小国高校、3年間の成長ストーリー

【探究】地域文化学
小国町ならではの暮らしや仕事、地域の格好良い大人に出会うことで、自己の興味関心を発見します。

スキー授業
道の駅の横根スキー場にて、地域の方々にレクチャーしてもらいます。スキー場から眺める冬の小国町は絶景です。

【探究】地域実践学
一人ひとりが自分の「やりたい!」から課題を設定し、地域に出てマイプロジェクトを実施します。

1年　本当の自分との出会い

コミュニケーション研修を皮切りに、地域に浸り、大人と対話することを通して自分の思いに気づき、言葉にするのが１年生です。ありのままを出せる楽しさを知る１年間です。

2年　挑戦し、脱皮する

小規模校サミットで全校を仕切り、マイプロジェクトで自分の思いを形にする。とにかく挑戦するのが２年生です。自分の人生は自分でつくれる感覚を養い、大きく成長します。

3年　地域の一員になる

２年間の学びを振り返り、自らの進路を決めていきます。一人の地域人として、志を立て、自分を理解し、周りの人と協働していける自走できる人間になって羽ばたきます。

【探究】3学年 地域構想学
インターンシップや今までの実践から「自分はどう生きるのか」を考え、進路を決定していきます。

アメリカ研修旅行
国際教育の集大成となる行事。アメリカのロサンゼルスを訪問し、現地のベニス高校と交流会を行います。

Grade Match
運動の得意不得意を越えて、全員が活躍できる学年対抗行事。eスポーツや早押しクイズなど生徒自ら企画します。

小国フェス
普段とは違う自分を表現する学校祭。個性豊かな模擬店や圧巻のステージ発表。地域の方々も参加して盛り上がります。

寮生活について

県外からの地域留学生には、寮または、下宿を斡旋しています。住居費(寮生活で最低限かかる費用)は月額 40,000 円です。詳しくは、小国町教育委員会までお問い合わせください。

TEL: 0238-62-2141
FAX: 0238-62-2143
email: info@shiroimori-ryugaku.com

教えて!! 小国高校の魅力!!

**失敗が全く怖くない！
マイプロ何回変えても
先生は応援してくれる**

小国高校の先生は、いい意味で日本一「変態」です（笑）。生徒よりも熱く、挑戦し、個性的。私が3回もマイプロジェクトのテーマを変えても、「挑戦してみなよ！」と応援してくれるので、失敗することが怖くなくなりました。小規模だから一人ひとりが主役になれるし、先生が伴走してくれる。本当に最高！楽しすぎます！皆さんも一緒にやりたいこと見つけませんか？

在校生 伊藤玲奈さん

**顔がわかる、個性がわかる
そこから協働が生まれる
感謝と尊敬がほとばしる**

ここでは互いに顔がわかり、一人ひとりの思いや個性が大切にされます。人任せができるほど人は多くないし、何をするにしても協働が必要。全員が役割を担い、得意を活かし責任を負う。それがやがて感謝とリスペクトにつながります。目の前にあることはどれも「自分ごと」。だから何とかしようと行動に結びつきます。挑戦はクセになります。それは大人たちにとっても同じです。

小国高校職員 板垣祥和さん

**私も熱烈サポーター！
生徒との交流は、
私の方が学びが大きい**

小国高校の魅力は、人数が少ないからこそ、みんなに役割があること。それぞれの生徒が個性を発揮し、自己肯定感を育むことができる環境だと思います。高校時代という多感な時期をこの小国町で過ごしたいと思ってくれる高校生がいるというだけで、胸が高鳴るのは自分だけではないはず。住民みんなで「来てくれてありがとう」という気持ちでサポートします！

自営業・農家 井上昌樹さん

**インターンシップで
出会った熱い職員さん
が進路決定の鍵に！**

現在、小国町役場で働いています。進路決定のきっかけは、インターンシップで熱い役場職員さんに出会えたから。仕事とは何かを指導してくださったり、懇親会では小国町への思いを語ってくださったり、本気でまちのことを考えている姿に感銘を受けました。高校生には自分を出して、やりたいことをやってほしい。今度は私が、それを応援します！

卒業生・小国町役場職員
八幡竜馬さん

**小規模校サミットで
人生が変わった！
まちも変わった！**

第1回小規模校サミットでリーダーを務めました。サミット前は「どうせ小さい学校だし」と思っていたけど、他校と交流することで、学校にもまちにも自分にも可能性を感じることができました。大切なのは自分と違う人や学校外の大人に自ら進んで出会いにいくこと。そして自分の思いやまちの良さを伝えていくこと。その緒（いとぐち）がココにはあります。

卒業生・山形県立米沢女子短期大学
永井珠莉さん

**国際教育も小国流！
心の交流が世界をつなぎ
学びたいにつながる**

どこかの誰かのことを知る。その人に自分のことを話す。お互いの人生を語り合う。湧いてくる「いいね！」から地域や世界への興味関心が高まり、学びにつながる。小規模校サミットをスケールアップする方法で、オンライン国際交流も実施しています。チャレンジ精神があれば、どこにいたって国境だって越えられる。小国高校から世界に奇跡を起こしていきます！

地域留学コーディネーター
ブライアン・デイさん

小国高校 公式 SNS

小国高校では、SNS や YouTube で情報発信をしています。日々の授業から、小規模校サミットや特別授業の様子など、リアルな小国高校生の姿が見られます。フォローよろしくお願いします！

Instagram　YouTube　Facebook

おぐまん

小国高校公認キャラクター

山形県立小国高等学校　〒999-1352 山形県西置賜郡小国町大字岩井沢 621
TEL: 0238-62-2054　FAX: 0238-62-2055

【留学に関するお問合せ】小国町教育委員会　〒999-1352 山形県西置賜郡小国町大字岩井沢 704
TEL: 0238-62-2141　FAX: 0238-62-2143　LINE: https://lin.ee/cvHRIgI　email :info@shiroimori-ryugaku.com

小国高等学校
魅力化 HP